

Dance Dance Dance



ルーカス ヒンダー WDSF会長の
ニューイヤー・メッセージ

第36回三笠宮杯
全日本ダンススポーツ選手権

第24回都道府県対抗
全国ダンススポーツ大会in岩手



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2017 No. 82



BD[®] DANCE

世界中のダンサーに愛される 今大人気のブランド

BD Dance シューズ

豊富なデザイン

フィット感



リーズナブルプライス

耐久性

激しい練習

クッション性



スタンダードチャンピオン
シモーネ&アネッタ

ショーダンスラテンチャンピオン
シミット&エレナ

JDSF会員様限定 常時特別価格にて販売中!!

チョイスダンスショップ

171-0022

東京都豊島区南池袋2-26-7 城北ビル7階

TEL. 03-3980-5559

【営業時間】 11:00~19:00

チョイス・ロンドン・ジャパン

検索



New Year's message

ニューイヤー・メッセージ

日本のダンススポーツ愛好者の皆さんへ新年のご挨拶



世界ダンススポーツ連盟 (WDSF)
会長 ルーカス ヒンダー

Dear Friends of DanceSport!

I appreciate to be given the opportunity to address all of you at the turn of the year, a time when we look back at the past as well as ahead towards the future.

First, I would like to express my sincere condolences on the passing of His Imperial Highness Prince Takahito of Japan, the Prince Mikasa, on 27 October 2016. For nearly four decades, Prince Mikasa was the Honorary President of the All Japan DanceSport Championships and a supporter of your organization. I share your grief over his loss and hope that you find solace in his memory.

2016 was an eventful year. Major changes affected the World DanceSport Federation (WDSF) from January already, when our long-time President Carlos Freitag had to step down from office due to health reasons, and when the Presidium had to reshuffle as a consequence. While I had assumed the responsibilities as WDSF President from day one, I insisted to have the General Meeting elect all the new charges in June for a one-year term. This gave our Member Bodies the opportunity to formally approve a specific programme that I had submitted to them earlier.

Bringing DanceSport to the next level would be the best way to describe the overall goal of this programme, which addressed a list of specific measures to be implemented in the short, mid and long term. Relocating our Swiss headquarters from Lucerne back to the Olympic Capital Lausanne, hiring a Chief Executive Officer and professionalizing the structure and operation of WDSF further were just some of them. And in the more distant future was the most elusive of all goals: that of getting DanceSport onto the official programme of the Olympic Games.

As I am writing this message to you in mid-December, WDSF has just been informed by the International Olympic Committee that its discipline Breakdance will be included in the Buenos Aires 2018 Youth Olympic Games (2018 YOG) with three medal events. Many things come to mind as these news start sinking in!

I doubt whether all of this would have been possible without the experience that WDSF had gained through the campaign to get Latin and Standard onto the programme of the Tokyo 2020 Olympics. The Japan DanceSport Federation (JDSF) was a formidable ally in our efforts to convince the Tokyo Organizing Committee of the value that DanceSport could bring to the Olympic Games.

Over the first six months of 2015 JDSF was the spearhead of all-out campaigning in Japan: it organized the press conference in March and it helped WDSF compile the official bid for submission in June. Even if DanceSport failed on that occasion, that our dream has now come true is your merit too. For this I am very grateful to JDSF already.

With a view to the future – and particularly to the YOG 2018 – I encourage JDSF to embrace all DanceSport disciplines. When the news of Breakdance making it to Buenos Aires broke around the world, they did together with other news of a young Japanese B-Boy winning first place in an important international competition in Nagoya. That much for looking back and ahead at a very special time for all of us. I wish all of you

A Happy New Year

Lukas Hinder
WDSF President

親愛なるダンススポーツを愛する友人の皆様へ

過去を振り返り、未来に思いをはせる新年を迎えるにあたり、皆様にご挨拶をする機会を頂いたことに感謝いたします。

初めに、昨年10月27日に三笠宮崇仁さまがご逝去されましたことに、心から哀悼の意を表します。ほぼ40年もの長きにわたり、三笠宮さまは全日本ダンススポーツ選手権の名誉総裁であり、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) の支援者でもありました。三笠宮さまのご逝去に接し、皆様のご心痛いかばかりかとお察し申し上げますとともに、在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

2016年は、変動の1年でした。昨年1月からWDSFに大きな変化が起きました。長年にわたり世界ダンススポーツ連盟 (WDSF) 会長を務められたカルロス・フライターク氏が健康上の理由で職を辞するのを余儀なくされ、その結果プレジディアムの改編を行う必要が生じました。私はWDSF会長の最初の職務として、6月の総会において新たに選任するすべての役員の任期を1年間とするよう提案しました。また、WDSFの加盟団体は、私が以前総会に提出した特別なプログラムを正式に承認することとなりました。

ダンススポーツを次のレベルに引き上げるためには、短期、中期および長期的に実施されるべき特定の対策リストを用いたこのプログラムの全体的な目標をWDSFの加盟団体に説明することが最善の方法だと考えました。例えば、WDSFのスイス本部をルツェルンからオリンピックの首都であるローザンヌに移し、最高経営責任者 (CEO) を雇い、WDSFの構造と運営をさらに専門化したことは、それらの一部にすぎません。その先にあるのは、数ある目標の中でも、最も入るのが難しいと思われるもの、つまりダンススポーツをオリンピックの公式プログラムに入れることです。

私がこのメッセージを書いている12月中旬に、WDSFは、国際オリンピック委員会 (IOC) からブレイクダンスがブエノスアイレスで開催される2018年ユースオリンピック (2018年YOG) に3つのメダルイベントとして参加できるとの通知を受けました。これらのニュースが理解されるにつれて、多くのことが私の心に浮かんできました。

WDSFがラテンとスタンダードを2020年東京オリンピックの追加種目に参加するキャンペーンを通じて得た経験なくしては、このすべてが不可能だったと思います。ダンススポーツがオリンピック大会にもたらす価値を東京オリンピック組織委員会に納得させる上で、JDSFは力強い味方でした。

2015年の最初の半年間で、JDSFは3月に記者会見を組織し、WDSFが6月に提出するための正式書類作成に力を貸して頂くなど、全面的にキャンペーンの先頭に立って頂きました。ダンススポーツは追加候補にはなれませんでした。私たちWDSFの夢が実現したのは、あなた方のおかげであると、JDSFに非常に感謝しております。

将来的に、(特に2018年YOGを迎えるまでには)、私はJDSFにすべてのダンススポーツ種目を取り入れて頂きたいと思っております。ブエノスアイレスへのブレイクダンスのニュースが世界中に広がっているとき、若い日本のブレイクダンサー (B-Boy) が名古屋で開催された重要な国際大会で1位を獲得したというニュースも同時に放映されました。

皆様のために、特別な時に過去を振り返り、未来に思いをはせましょう。皆様のご多幸をお祈りいたしております。

謹賀新年

世界ダンススポーツ連盟 (WDSF)
会長 ルーカス ヒンダー
(訳: JDSF 鶴崎清貴国際本部長)

追悼

2016年10月27日、 三笠宮崇仁親王殿下薨去 心よりお悔み申し上げます。

三笠宮さまは、ダンスに大変ご造詣が深く、皇室きってのダンスの名手であられ、当連盟で毎年開催されている三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権は、1980年(昭和55年)、三笠宮さまが当連盟の前身である旧日本アマチュアダンス協会(JADA) 総裁にご就任いただきましたことを記念して開催されております。1981年2月(昭和56年)に開催された第1回三笠宮杯から昨年10月に開催された第36回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権まで大会名誉総裁にご就任いただいております。謹んでご冥福をお祈りいたします。

公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟(JDSF)
会長 齊藤斗志二



10月27日付け毎日新聞第一面



ダンススポーツの発展に
尽力された記事



第36回三笠宮杯にて

故三笠宮さまの御通夜・^{れんそう}斂葬の儀に参列して

JDSF事務局長 内山 雅允

故三笠宮さまの御通夜、斂葬の儀に参列させていただきましたので、謹んでご報告申し上げます。

御通夜は、11月3日(木) 赤坂御用地内の三笠宮邸で行われました。JDSFからは、齊藤会長と私が弔問いたしました。宮内庁からの案内によれば、服装はモーニングコート・ネクタイ黒ということでした。皇族、元皇族、御親族等の順で18時第1回開始から30分刻みで、私たちは21時第7回開始という遅い時間帯でした。20時半ごろに三笠宮邸に入り、仮設テントで20人ぐらいの人たちと待機、お茶と和菓子が出ました。21時に祭壇が祀られたお部屋に案内され、祇候時間は約20分、着席のまま照明が消された中で黙祷しました。終了後、別室で簡単な飲み物、果物、サンドイッチ、寿司等が出され、22時ごろ退室しました。

11月4日(金) 斂葬の儀に参列するため、赤坂御用地東門に7時50分に集合するようにとの案内に基づき、7時半ごろ行きました。この日は、山田専務と私が出席しましたが、赤坂御用地からはバス5台で私たちは2番目68号車に乗り、8時15分に出発し、文京区の豊島岡墓地に8時45分ごろ到着しました。1,000人ぐらいの参列者でしたが、男性はモーニングコート・黒ネクタイ(又は紋付羽織袴)、女性は通常の喪服に指定されました。

皇太子ご夫妻、皇族がご参進後、9時40分ごろ三笠宮さまの御列が到着、葬場へ、その後、天皇の勅使、皇后

宮使が^{あくしや}幄舎へお着席、奠饌幣、祭詞が行われました。

祭詞が終わり、天皇の勅使、皇后宮使がご退出、喪主(崇仁親王妃百合子さま)、皇族の拝礼、復席があって、最後に参列者の拝礼(内閣総理大臣を最初に三権の長、以下続く)に時間がかかりましたが、滞りなく終わりました。この間、起立、着席を何度か繰り返しました。参列者の所作は、①幄舎から葬場前へ移動、喪主の前で一礼 ②石畳前で立ち止まり深く一礼 ③退出ということでした。帰りは豊島岡墓地を11時半ごろにバス出発、赤坂御用地に12時15分ごろ到着し、解散となりました。この度は、大変貴重な体験をさせていただきましたが、三笠宮さまは平和を心から望み、国民とのつながりを大切になさっておられたことを、御葬儀、報道等を通じて改めて実感させられました。ダンススポーツの発展にご尽力いただきましたことに深く感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

10月21日 小坂憲次理事ご逝去

小坂憲次理事(長野県出身 自由民主党 参議院当選1回・衆議院当選6回 70歳)は、文部科学大臣、衆議院議員運営委員長、参議院自民党幹事長等を歴任。2015年JDSF理事にご就任いただきました。2013年5月、超党派の国会議員に呼びかけダンス文化推進議員連盟発足と同時に会長に就任され、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」の改正にご尽力されました。改正法案は昨年の通常国会において、衆参の委員会審議を経て6月17日の参議院本会議で可決成立しました。今後の健全なダンス文化の再構築・育成にもご指導を賜る矢先の訃報でした。(合掌)



平成29年度公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 正会員選挙の実施に関する告示

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 選挙管理委員会委員長 高橋 和代

平成29年度公益社団法人日本ダンススポーツ連盟正会員選挙を実施しますので、正会員選出に関する規則第2条第3項及び第3条第3項に基づき、以下のとおり告示します。

(告示事項)

- 1 選挙する正会員の定数は、規則第5条第4項により下表のとおりとなります。

北海道	3	千葉	3	滋賀	2	愛媛	2
青森	1	東京	7	京都	2	高知	1
岩手	2	神奈川	5	大阪	3	山口	2
宮城	3	新潟	2	兵庫	2	福岡	2
秋田	1	長野	2	奈良	2	佐賀	1
山形	2	富山	2	和歌山	2	長崎	1
福島	2	石川	1	鳥取	1	熊本	2
茨城	3	福井	1	島根	1	大分	2
栃木	2	静岡	3	岡山	2	宮崎	1
群馬	2	愛知	2	広島	2	鹿児島	2
山梨	2	三重	2	香川	1	沖縄	2
埼玉	3	岐阜	1	徳島	2	計	97

- 2 任期は、平成29年6月1日から平成31年5月31日までです。

- 3 正会員への立候補

- 1) 平成29年1月1日現在で会員登録されている正会員、一般会員（ただし、当連盟役員は除く）は、正会員に立候補する権利を有するとともに、正会員を選挙する権利を有します。
- 2) 正会員には、当該加盟団体の会員を代表して総会に出席していただきますが、これに要する費用について、JDSFからの支給はありません。

- 3) 立候補する場合は、様式第2号により、平成29年3月1日（水）から平成29年3月7日（火）17時（必着）までに、郵送、又は、FAXで届け出てください。様式は、当連盟ホームページからダウンロードするか、当連盟事務局（電話03-6457-1850）にご請求ください。

届出先：〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

選挙管理委員会

FAX：03-6457-1857

なお、立候補を辞退する場合は、平成29年3月31日までに届け出てください（様式自由）。

- 4) 立候補者の掲示

立候補者名は、随時、当連盟ホームページに掲載します。

- 4 投票

立候補者数が定数を上回った場合は、投票を行いますが、投票方法は加盟団体により異なりますので、投票を行うことになった場合に、本部または加盟団体選挙管理委員会が当連盟ホームページ等により投票・開票日を告示します。

ワールドマスタース ゲームズ2021関西決定!!

ワールドマスタースゲームズがアジアで初めて日本開催されることが決定しました。2021年は第10回の記念大会となり、5月15日から5月30日の16日間、32競技55種目が開催され、その舞台は関西となります。ダンススポーツ競技は、和歌山ビッグウエーブで開催。「ワールドマスタースゲームズ」は国際マスタースゲームズ協会(IMGA)が主催、IOC(国際オリンピック委員会)が後援する、30歳以上(原則)の方なら誰でも参加でき、生涯スポーツを推進しシニア世代のアスリートに夢と希望をもたらす、一般参加型国際大会です。



ワールドマスタースゲームズのポスター

舞い上がれ 日本の頂点へ！
新しい歴史はこの舞台から生まれる！

第36回三笠宮杯

JDSFダンススポーツランキングポイント取得競技会／WDSF世界選手権代表選考

2016年10月9日(日) 東京体育館



三笠宮杯は1980年、三笠宮崇仁親王殿下が、当時の日本アマチュアダンス協会(JADA、1999年に日本ダンススポーツ連盟JDSFに改称) 総裁にご就任いただきましたことを記念して御下賜され、翌1981年に三笠宮崇仁親王殿下、百合子妃殿下のご臨席のもとに第1回大会が開催されました。以後、毎年欠かさず開催されています。第36回を迎えた今年は三笠宮崇仁親王殿下の「百寿」のお祝いにあたり、セレモニーでは、お元気なお姿が映し出され祝福申し上げました(10月27日薨去されました)。

そしてJOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権は、未来のオリンピック選手育成を目的としてJOCが後援し、IOC公認のIF(国際競技連盟：世界ダンススポーツ連盟 WDSF)に加盟しているNF(国内競技連盟：公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 JDSF)が主催する競技で、優勝者には「JOC杯」が贈呈されます。また、優勝者はオリンピックや国際大会で活躍が期待できる選手として「JOCオリンピック有望選手」に推薦されます。



三笠宮崇仁親王殿下の「百寿」を祝福

また、第1回の全日本PD(プレミアディビジョン)ダンススポーツ選手権も開催され注目が集まりました。今回も公益財団法人東京都スポーツ文

化事業団との共催、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興基金助成事業として実施。会場は約6千人の大観衆で熱気あふれる大会となりました。則内慶彦大会実行委員長は、「若干のトラブルで約40分終了が遅くなったことは今後の反省事項となりました」と話してくれました。

主催者を代表し、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF) 齊藤斗志二会長は三笠宮崇仁親王殿下の「百寿」の祝辞を述べたあと「今大会は観客とフロアーが一体、法改正により昼も夜も一体、ジュニアもベテランも一体、プロも参入しアマプロ一体の大会となりました。今日から新しい時代が始まります。2024年オリンピック種目を目指し、2026年愛知県・名古屋市開催アジア競技大会では金メダルを目指す」と挨拶。続いて公益財団法人東京都スポーツ文化事業団坂内顕宏常務理事は大観衆のお客様に感謝の辞を述べ「晴れの舞台で選手は存分に実力を発揮していただきたい」と挨拶されました。

秋元司衆議院議員(JDSF顧問・ダンス文化推進議員連盟事務局長)は「今年にはリオオリンピックの年、ダンスがオリンピック種目になるように応援したい。ダンスの文化を高めるように風営法改正は6月24日から施行され、小さな子供からお年寄りまでダンスを楽しんでいただける環境も一歩前進しました」と挨拶されました。



齊藤斗志二
JDSF会長



坂内顕宏公益財団法人東京都
スポーツ文化事業団常務理事



秋元 司
衆議院議員



八木沼純子JDSF顧問(元オリンピック・フィギュア
スケート日本代表選手)と則内慶彦大会実行委員長

第1回全日本PDダンススポーツ選手権

WDSF PD部門の世界選手権に繋がる第1回全日本PDダンススポーツ選手権が開催され、昨年三笠宮杯スタンダード優勝のオレクシー・太田組(St)とJBDFスタンダード&ラテンともにA級、全日本10ダンス4連覇を達成した山本武志・木嶋友美組(St&La)が出場する注目の競技となりました。



ファイナリストの入場



ラテン
優勝

山本武志・木嶋友美組(東京都)



ラテン
準優勝

新屋秀和・滝川絵理組(大阪府)



スタンダード
優勝

オレクシー グザー・
太田吏圭子組(東京都)



スタンダード
準優勝

山本武志・
木嶋友美組(東京都)



スタンダード
第3位

山崎圭太・
石本美奈子組(東京都)



ラテン
第3位

魚谷征義・
魚谷はる組(兵庫県)

全日本ダンススポーツ選手権



併催: JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ジュニア
第1回全日本PDダンススポーツ選手権 / 全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル
第2回全日本サルサダンス選手権



三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

昨年、スタンダード優勝のオレクシー組がPD部門に移り、ラテン優勝の兄妹カップル久保田弓椰・久保田蘭羅組は蘭羅が引退し新しいパートナーと出場、世界ユース選手権で大活躍した藤井組、大西組、さらに昨年準優勝の小嶋組、八谷組、山田組などが決勝に進出、我が国最高峰のダンススポーツ競技にふさわしい熱戦となりました。スタンダードは素晴らしいスピードとコントロールされたダイナミックな踊りで小嶋組が決勝入りして9年目にして念願の初優勝を飾りました。久保田組はタンゴでLOD Violation (LODマナー違反) で2点の減点もあり、第5位になりました。ラテンは、久保田組と藤井組との大接戦となりましたが、藤井組がわずかの差で勝利し、初優勝を飾りました。



決勝ではコーチも紹介されました。藤井創太・吉川あみ組と宮岡光秋先生

スタンダード部門



優勝

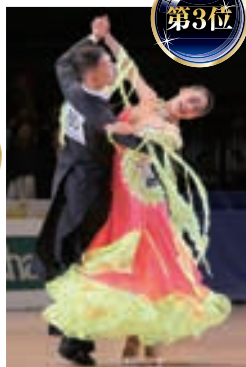
小嶋みなと・盛田めぐみ組 (神奈川県)



準優勝

藤井創太・吉川あみ組
(ブルボンDST / 千葉県)

大西大晶・大西咲菜組
(ブルボンDST / 富山県)



第3位



第4位

久保田弓椰・セルミヤギナ ヴィクトリア組
(北海道)



第5位

山田恭平・秋山彩織組
(東京都)



第6位



優勝



準優勝

久保田弓椰・セルミヤギナ ヴィクトリア組 (北海道)
藤井創太・吉川あみ組
(ブルボンDST / 千葉県)



第3位

八谷和樹・皆川 円組
(千葉県)

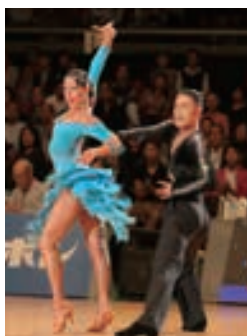


第4位

渡辺安登・石垣真衣組
(ブルボンDST / 千葉県)



第5位



第6位

菅原一樹・Laura Collavizza組
(東京都)

JOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権ジュニア

スタンダード・ラテン共に優勝～第3位まで同じ順位となりました。



優勝

五月女光政・五月女睿佳組 (栃木県)



準優勝

石垣和宏・三喜穂菜美組 (千葉県)



第3位

太田歩生・太田なごみ組 (北海道)

第36回三笠宮杯インタビュー

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

【スタンダード優勝】

小嶋みなと・盛田めぐみ組（神奈川県）

「三笠宮杯で優勝することが目標だったので、ようやく優勝できて大変うれしい。ユースの選手たちが相当強く、今回は誰が優勝するかわからないという感じだったので気合が入っていた。本当は去年優勝したかったけど叶わなかったで、今年は確実に優勝しようと思っていた。今まではがむしゃらにとにかく動こうとしていたところがあったが、今はテクニックや音楽性などを重視し採点方式を意識した上で思い切り踊るように変えてきた。これまではジュニア・ユースの踊りが抜け切らなかったところもあったが、今は大人の踊りを取り入れて、二人で自由に踊ることを最も大事にしている。これからは追われる立場になり下の年代の追い上げが相当強くなることは想定できるが、私たちもそれに負けず更に成長していきたいです！」



【ラテン優勝】

藤井創太・吉川あみ組

（ブルボンDST・千葉県）高2・高3

「優勝したかったので嬉しくて泣いてしまった。2人で組んで2年、初めての三笠宮杯でとても緊張していたのですが優勝できてうれしい。ここまで連れてきてくれた先生方に感謝しています。今までずっと連覇を続けてきた弓椰さんを破っての優勝で喜びもひとしお。準決勝の結果は3位で差が離れていたのですが、決勝では集中して絶対優勝しようと思った。今年は海外にスタンダードのレッスンを受けに行っていたが、ラテンはほとんど受けていなかった。もともとラテンは好きなのでラテンの練習は毎日欠かしたことがないのが勝因の一つかも？ しかし海外で勝つためには下半身の強化が課題と感じている。日本で優勝しても海外で勝てるわけではないので、これを目標達成とせず更に上を目指します！」



全日本PDダンススポーツ選手権

【スタンダード優勝】

オレクシー グザー・太田吏圭子組（東京都）

「正直なところまだアマチュアの気分が抜け切らない。吏圭子さんは去年優勝した三笠宮杯でファイナルの中では一番のお姉さんだったが、PDでは違うのが嬉しい（笑）。PDは若さのエネルギーが異なるのは否めないが、それ以外の部分でもっと良いものを求めている。今年は7月までPDの試合がなかったで、自分たちが今までやりたかったこと、例えば音楽性や相手のことを感じるなどにじっくり取り組むことができた。WDSFのPDはまだジャーマンオープンしか出ていないが、11月にデンマークでPDの世界選手権があるので出場しランキングを上げたい。生活は相変わらずウクライナと行ったり来たり。日本にいる時はDTCでトレーニングやレッスンをしているのでJDSFにはお世話になっている。これからはPDがGD（ゼネラル部門）の受け皿となり、もっと盛んになっていくことを望みます」



【ラテン優勝】

山本武志／木嶋友美組（東京都）

「この大会は会場も最高で、スポンサー、お客様、運営、全てが日本最高の試合だと思う。このような大会で優勝できて大変嬉しい。オナーダンスは広いフロアでライトを浴びてとても気持ちよく踊ることができた。これからもゼネラル部門からPDへの道を作るためにPDのレベルを上げていき、更に世界のPDセクションに挑戦する道を広げていきたいと思う。来週、WDSFのPDの10ダンス世界選手権がドイツで開催されるので精一杯がんばってきます！」とのコメントを残し、新幹線の時間があるからと慌しく会場を後にされました。



JOCジュニアオリンピックカップ 全日本選手権ジュニア

【スタンダード・ラテン優勝】

五月女光政・五月女睿佳組（栃木県）中2・小6

五月女組は兄妹のカップルで睿佳さんはまだ小学生。去年はスタンダードとラテン共に準優勝だったが今年は狙い通りダブル優勝を果たし今日の演技を自己採点すると80点、バランスを崩したところがあったこと、焦ってしまったところがあったのが減点の要因。ダンスを始めてまだ3年だが、コーチの先生によると2人は天性の才能を持っているとのこと。近所のスタジオで毎日踊り込みをし、週2回東京のスタジオに通っています。ダンスを始めたきっかけはお母さんがテレビを見て一度やってみたらと勧められこと。やってみたら楽しくて夢中になったそうです。「今後は国内の大きな大会で活躍し、海外ではジャーマンオープンで良い成績をあげたい」と、二人。ロシアのジャルコフ・クリコバ組が好きで、ラテンはレッスンを受けているガブリエル・アンナ組が憧れの選手です。



ブルボンのお楽しみお菓子セットとブルボンコーナー



ご来賓



WDSFピーター・マックスウエルPD終身名誉会長、公益財団法人日本ボールルームダンス連盟福川素子会長、田邊重光JDSF副会長ご夫妻、PD部門の役員の皆さま



北辰商事株式会社口チャース太田順康副社長ご夫妻、齊藤斗志二JDSF会長、市原則JDSF理事（元JOC副会長・専務理事）ご夫妻



星野倭夫代表取締役専務及び(株)ブルボンの皆さま

全日本選手権ジュブナイル

【スタンダード優勝】

木下将希・山岡愛生（あい）組（千葉県）
小5・小4

2人は千葉県の“チームみやおか”に所属、将希君は小1から、愛生さんは4歳からダンスを始めました。カップルを組んでまだ半年足らずです。

今日は自己採点で80点。将希君がダンスを始めたきっかけは、お祖母ちゃんがやっていて面白そうだったから。学校では陸上もやっていて走るのが得意。愛生さんはダンススタジオで見て興味を持ち、小学校の教頭先生から「大会頑張って」と言われてきたので優勝の報告をしたいとのこと。空手をやっていたがダンスを始めて止めてしまいました。“チームみやおか”の先輩（藤井・吉川組／渡辺・石垣組）が目標で、将希君は「プロになって世界を目指したい」、愛生さんは「アマチュアチャンピオンになりたい!」と話してくれました。



全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル

S優勝

L優勝



木下将希・山岡愛生組（千葉県）



濱田琉成・岨組組（栃木県）

【ラテン優勝】

濱田琉成・岨（さそう）桜組（栃木県）

小4・小3

琉成君は濱田琉衣君（三笠宮杯St 11位）・琉光君（ジュニアSt4位 La5位）を兄に持つ濱田家の3男。桜さんは10ヶ月前に本格的にダンスを始めたばかりですが、お母さんが新体操の先生なので上達が早かったのでしょうか。2人ともダンスが大好きで練習は週6日して、一番楽しいと思うのは優勝した時です。琉成君はダンス以外に空手もやっていて、今日の演技は自己採点で95点。足りなかったのは笑顔ともう少し足を強く使いたかったこと、「将来はガブリエルとアンナ組の踊りを目指して、世界チャンピオンになることです!」と、夢は大きいです。



スタンダード部門表彰式



ラテン部門表彰式

オープニングショー



第2回サルサダンス選手権
優勝 Hide & Peko
(中村英嗣・赤羽根慶子組 東京都)



8月に開催された振付師の祭典「Legend Tokyo Chapter6」でJDSF特別選定賞に輝いた優秀作品「BLEND」



オーディションで選ばれた68名のメンバーが「FLY TO THE FUTURE」を熱演

第23回全国公認指導員・審判員 ダンススポーツコンgres



吉川英司指導部長の挨拶に続き、音楽プロデューサー、舞台監督等でご活躍の石場惇史ダンス音楽指導者協会会長による「ダンスと音楽」と題して、音や拍の日本人と西洋人の感覚の違いなどピアニストの河原千尋氏の演奏、豊科中学3年の丸山佳南枝さんの演技を交え講演をいただきました。続いて三笠宮杯スタンダード11連覇の石原正幸氏と同ラテン8連覇の石原蘭羅（旧姓久保田）のカップルによる実技講演「WDSF教本について」と題し、前半はスタンダード、後半はラテンを中心に、ダンススポーツの踊り方について実技を交え特別講演が行われました。



2018年ユースオリンピックに ダンススポーツ競技(種目:ブレイクダンス)決定

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) 理事
国際本部長 鷗崎 清貴



12月6日、国際オリンピック委員会 (International Olympic Committee : IOC) から世界ダンススポーツ連盟 (World DanceSport Federation : WDSF) に、2018年10月初めにブエノスアイレス (アルゼンチン) で開催されるユースオリンピック競技大会 (Youth Olympic Games) にブレイクダンスが採用されたというビッグ・ニュースが届きました。

ユースオリンピック競技大会は、IOCが主催する14歳から18歳までのアスリートを対象とした国際総合競技大会です。オリンピックと同じく夏季・冬季に分かれ、それぞれ4年ごとに開催されます。2010年に第1回夏季大会がシンガポールで、第2回が2014年に南京で開催され203の国と地域から3579人の選手が参加し、28競技222種目が実施されました。日本選手団は、金メダル8個、銀メダル11個、そして銅メダル7個を獲得しました。

WDSFは、2015年6月に2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の追加種目になるべくダンススポーツは立候補を表明しました。残念ながら、追加種目を逃しましたが、このIOCへの働きかけが、2018年のユースオリンピックにつながったと、WDSF会長ルーカスヒンダー氏の新年のメッセージやWDSFのニュースリリースにおいても、この動きを主導したJDSFに感謝の辞を表しております。

また今年7月28日・29日には、第10回ワールドゲームズ2017が、ポーランドのヴロツワフ市で開催され、ダンススポーツも正式種目となっております。ワールドゲームズとは「第2のオリンピック」ともいわれる国際総合競技大会です。国際ワールドゲームズ協会 (International World Games Association : IWGA) が主催し、国際オリンピック委員会 (IOC) 後援で4年に一度、夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年に開催されます。2020年の東京オリンピックの追加種目にワールドゲームズ競技の8競技 (バドミントン、野球、ソフトボール、テコンドー、ビーチバレーボール、女子ウェイトリフティング、トライアスロン、7人制ラグビー) が採用されました。このようにワールドゲームズはオリンピックと密接に関係しています。さらに、ワールドマスターズゲームズが、2021年5月に関西で開催され、ダンススポー

ツも和歌山で正式種目として行われます。30歳以上の選手の戦いが楽しみます。

WDSFは、1997年IOCに正式加盟を行い、ダンススポーツをオリンピックスポーツにすべく活動してまいりました。これにより、オリンピック・ムーブメントは、昨年から大きく動き出してきました。JDSFもこれら大会に備え、選手強化、国際派遣そして組織改革を行ってまいりました。

今後とも、JDSFの活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

INTERNATIONAL OLYMPIC COMMITTEE
Sports Department
Ref. No. 2016/KML/bss
By e-mail only

Lukas HINDER
President
World DanceSport Federation (WDSF)
Maison du Sport International
Av. de Rhodanie 54
1004 Lausanne
Suisse

Lausanne, 6 December 2016

Youth Olympic Games Buenos Aires 2018 – event programme

Dear President, dear Lukas,

It is a great pleasure to inform you that at its meeting today in Lausanne, the IOC Executive Board has taken the decision to approve the following events for DanceSport in the Youth Olympic Games Buenos Aires 2018:

Event	Number of athletes	Age group
Men's breakdance	24 athletes	16 – 18 years old
Women's breakdance	12 W	
Mixed team breakdance (1M&1W)	12 M	

The IOC is excited to welcome the sport of DanceSport and the World DanceSport Federation to the Youth Olympic Games programme. We truly believe that DanceSport will add great value in terms of youth engagement and innovation.

In terms of next steps we will need to accelerate the process for developing a fair and transparent qualification system that needs to be approved by the IOC Executive Board in February 2017. Furthermore a pack of information will be shared with you by our team to start the planning and relation with the organising committee. We will also liaise with you separately regarding the communications messages which the IOC will be announcing this evening Lausanne time.

Congratulations once again and we look forward to making the DanceSport events in Buenos Aires 2018 an unprecedented success.

Very best regards,

Kit McConnell
Sports Director

WDSF世界選手権ユース10ダンス遠征報告

～熾烈な舞台で勝ち取った藤井・吉川組の輝かしい世界第4位～

- 開催日：2016年11月5日（土） ●開催地 ラトビア共和国リーガ市
- 日本メンバー 代表選手：藤井 創太・吉川 あみ 帯同役員：竹下 次郎
同 伴：宮岡 光秋、杉崎 雅彦、杉崎加代子、吉川 美香



選手強化部
竹下 次郎



ホテルから競技会場の Sport Hall Daugava へは、貸切の送迎バスがあり、30分程で到着しました。外気温は-2度。雪も積もっており、かなり寒いはずですが、これから始まる競技への意気込みが、寒さを感じさせませんでした。

そして、すでに会場ではジュニア、ジュブナイルの競技が行われており、熱気が充満していました。競技開始は14時、競技終了は23時30分。一次予選⇒二次予選⇒準決勝（セミファイナル）⇒決勝（ファイナル）まで踊った曲は合計40曲です。

☆13時受付14時競技開始

出場組数は30ヶ国30組で、ヨーロッパ各国が中心で、東アジアからのエントリーは日本のみでした。リダンスなしで、一次予選からヒートシャッフルです。開始直前までタイムスケジュールが掲示されなかったこともありましたが、帯同役員としての私が、大会本部役員にきちんと競技開始種目の確認を忘れたことが原因で、スタンダードとラテンの衣装を急遽着替えるアクシデントがありました。先入観で対応するのではなく、明確な情報をもとに行動することが重要であると痛感しました。

☆1次予選からパワー全開

踊りだしから二人は躍動感に溢れ、たくさんの観客から大きな声援を受けていました。ただ、長旅の疲れや世界選手権という大舞台でのプレッシャーもあったのか、一次予選を踊り切った二人には、かなりの疲労感が見えました。特に、リーダーの藤井創太の体調は優れなかったようでした。

それ以後は、一曲、一曲、フロアに入る度に「ダンスを楽しんでね！ 向こうの席で応援しているから」とペップトークしながら、二人を送りだしました。

セミファイナルでは二人とも疲労感が極限まで達した様子で、足が攣り、踊り終える度に座り込んで、足を休め、そしてまたフロアに向かう。まさに、気力・体力の限界まで挑戦するトライアスロンのような感じでした。

☆ファイナル進出

決まった時に藤井創太が「狙いますよ！」と言った一言がとても印象的でした。ファイナルは、スタンダードはSlow fox、Quick stepラテンはChachacha、Jiveがソロ競技で、踊り終えると大型モニターに採点結果が直ぐに表示されました。そして、最終順位が4位と決まった瞬間、私たちは思わずガッツポーズで「やった！」と叫びました。二人は表彰式が終わった後、多くの観客から握手と写真を求められ、

競技会場
Sport Hall Daugava



スタンダードを踊る藤井組



藤井組のパワフルなラテン

笑顔で応じていました。このような交流から、日本代表 藤井創太・吉川あみ組の海外ファンが増えていくことがとても嬉しかったです。

今回の熾烈な世界舞台で勝ち取った藤井創太・吉川あみ組の世界第4位は、本当に輝かしい成果です。そして、世界の風を二人が受けて、自分たちの踊りと体力を改めて見直すチャンスを得たことで、更に進化していくきっかけとなることを期待しています。優勝は7月北九州市で開催されたユース世界選手権スタンダード準優勝（翌日のWDSFオープンラテン優勝）のDenis Gudovsky・Megija Dana Morite組（ラトビア）でした。



表彰式



平成28年度ランキング競技結果・ 平成29年度DSCJ・JDSF競技会について

例年のように、平成28年度のJDSFランキング競技会の結果、平成29年度DSCJ・JDSF競技会予定及び2017年版競技関連規程集の主な改訂点についてご報告いたします。

平成28年の年間競技会開催回数はDSCJ公認・承認競技会あわせて309回（内6回は震災等で中止、昨年308回）、JDSF主催は204回（公認197回、承認5回、普及2回）プロ団体105回（JPDSA69回、NJDC29回、旧JBDF=>PD 7回）となりました。昨年と比べると全体では横ばい、JDSFは微増でした。

平成29年度のDSCJ公認競技会予定表は11月29日に各ブロック、都道府県連盟に通知いたしました。

この予定表に掲載されている競技会はDSCJ公認競技会の予備（仮）公認を得ていますので、開催日3ヶ月前までに、正式な申請を行い、その内容に競技規則・規程等の違反がなく、競技会開催に問題がなければ正式にDSCJ公認競技会となります。



競技本部長
山口 剛

- 1) 28年度JDSFランキング競技の結果（次頁）
- 2) 29年度DSCJメイン競技会及びJDSF主催競技会予定。

DSCJメイン競技

JPDSA主催

- 7/17 JPDSAアジアワールドダンススポーツフェスティバル（WDSF OPEN、ユース10ダンス）
[ホテルイースト21]
- 9/24 JPDSA西部主管 スーパーダンスフェスティバル
[大阪：不死王閣グリーンホール]

NJDC主催

- 4/30 NJDC ダンス選手権 [埼玉：アスカル幸手]
- 7/2 NJDC Japan Dance Trophy [未定]

JDSF主催

- 3/12 東京オープンダンススポーツ選手権 [東京体育館]
- 4/16 ダンススポーツグランプリin大分 [べっぴんアリーナ] St*
- 5/7 ダンススポーツグランプリin大阪 [不死王閣] La*
- 7/23 ダンススポーツグランプリin静岡 [浜松アリーナ] St*
- 8/20 ダンススポーツグランプリin北海道 [北海きたえーる] La*
- 9/17 ダンススポーツグランプリin仙台 [青葉体育館] St*
- 10/8 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会
[東京体育館] St&La*

※印はダンススポーツランキング競技です。

メイン競技以外のJDSF主催競技

- 6/4 全日本10ダンス選手権 [愛知：津島市体育館]
- 7/30 第12回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ [BumB 東京スポーツ文化館]
- 9/10 第30回ねりんピック [秋田：秋田県立体育館]
- 11/12 第25回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会
[愛媛県総合運動公園体育館]

※2017年国際派遣選考競技会

2017年度国際派遣選考競技会は部門別に下記の一覧表のとおりとなりました。

代表派遣を目指す選手の皆様は良くご覧になり、予定を立て奮ってご参加ください。

なお、平成24年からジュニアSt、Laの選考は、グランプリ大阪、オールジャパンジュニアDSカップ、三笠宮杯全日本選手権ジュニアの3大会のポイントにより選抜されることとなっています。

また、平成27年よりユースSt、La代表選考は、グランプリin静岡の全日本選手権ユース、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ及びグランプリin仙台的ユース区分の3大会のポイントにより選考とすることになりました。

2017年	グランプリ in大分 (べっぴんアリーナ) 4月16日	グランプリ in大阪 (不死王閣) 5月7日	グランプリ in静岡 (浜松アリーナ) 7月23日	オールジャパン ジュニア DSカップ (BumB 東京 スポーツ文化館) 7月30日	グランプリ in北海道 (きたえーる) 8月20日	グランプリ in仙台 (青葉体育館) 9月17日	三笠宮杯 (東京体育館) 10月8日
グランプリ スタンダード	○		○			○	○
グランプリ ラテン		○			○		○
シニアI スタンダード		○			○		
シニアI ラテン	○					○	
ユース スタンダード			○	○		○	
ユース ラテン			○	○		○	
ジュニア スタンダード		○		○			○
ジュニア ラテン		○		○			○
ジュニア 10ダンス			○				

※2017年度世界10ダンス選手権への派遣選考会は、2017年6月4日 津島市体育館で開催されます。

※2018年度世界ユース10ダンス選手権への派遣選考会は、2017年7月17日（月・祝）のJPDSA主催アジアワールドスターズダンススポーツフェスティバル（場所：ホテルイースト21）で開催されます。

※世界ユース選手権／ジュニア選手権（スタンダード・ラテン）への派遣選考は、代表派遣をする世界選手権開催日3ヶ月前を起点とした3大会のポイント結果により選考します。

※2018年度世界シニアIIの派遣選考会は、2017年3月11日（土）ダンススポーツフェスティバルin東京（東京体育館）で開催されます。

※世界シニアIIIの派遣選考会は、2017年7月16日（日）世界選手権プレ大会（長野：ホワイトリング）で開催されます。

以上のことをしっかりとご確認の上で、DSCJ競技会にふるって参加して頂き、DSCJ競技会がなお一層活性化されますことを願っております。

3) 競技関連規程集について

本年も競技会主催者、競技役員用の競技関連規程全てを掲載した「2017年版DSCJ・JDSF競技関連規程集」を発行致しました。競技長始め競技会を運営される方はよくお読みになり、競技会開催時には是非お手元において、お役立て下さい。

今まで登録選手の皆様に配布されていた「選手用競技関連規程集」は2016年より廃止となりました。

2017年競技関連規程集の主な改訂点及び改訂内容

- (P1 他) 数字級の6階級が3階級に統合されて、幾つかの改訂がなされた。
- ・昇級基準を20%に統一し、種目、フィガー、服装などの規程も変更された。
 - ・特に3級戦は規定フィガーを廃止して、平易な自由フィガー、又は推奨フィガーとした。
 - ・又、主催者判断で練習着も可とし、さらに同性同士の出場や男性役女性役の性別を問わないとした。
 - ・推奨フィガーは、JDSFのホームページの競技本部から確認下さい。
- (P1 他) シニアIとシニアIVが公認シニア級競技に追加され、シニア級の見直しをした。
- ・シニア級の昇降級規程やJ級との絡み、種目、フィガー、服装などの規程も改訂された。
 - ・シニアIの年齢は年内に35歳以上と30歳以上の誕生日を迎える者。略称は「S」を使用。
 - ・シニアIVの年齢は年内に65歳以上と60歳以上の誕生日を迎える者。略称は「R」を使用。
 - ・但し、シニアIVのラテン部門は未成立が見込まれるため、公認競技は当面実施しない。
- (P3 他) 「第29条 2公認競技会に出場する選手は、出場する競技会の10日前までには、選手登録のシステム入力が完了していなければならない。」とした。
- 競技会の出場申込や、選手受付時のトラブルを防ぐために、選手登録完了時期を明確にした。
- (P4、16) 「第33条 ゼッケンの折り込みを禁止し、受け取った時の形状を変えてはならない」とした。
- 「東京オープン」や「世界選手権」などのWDSFルールとの混乱を防ぐためWDSFルールに統一した
- (P6 他) 別表1-1～3の服装欄、「正装」「平服」と明確にし、説明文は欄外に移動した。
- (P8 他) ・注意項目の一部を条文に変更し明確にした。
- (第6条 昇降級優先順位 第7条 降級特別措置)

・ノービス戦の昇級%を20%に改訂した。但し「単科戦を実施する場合は、昇級10%最大3位までとし公認申請の前に、特例申請が必要」とした。

- (P15) 第7章34条、35条規定フィガーが廃止され、フィガーチェッカーの役目が終了したので削除した。
- (P23、24) 第3条 服装の区分に、「主催者の判断で、3級戦に限り練習着可」とする項目を追加した。
- 24ページの区分表に練習着の項目を追加した。
- 「男性側はワイシャツにスラックス、女性側はブラウスにスカート等ダンスに相当と思われる服装の事。ネクタイは自由。(但し、ジャージ等のトレーニングウェア、Gパン、Tシャツ等は除く)」
- (P49) 「都道府県対抗の団体戦規程」の出場資格(年齢)等が改訂された。
- (P66) 「登録管理規程」が改訂された。
- (P68、69) 「国際派遣選手選考規程」の第2条の5、3条の4と5に文言が追加された。
- (P75、76) 「会費に関する規程」と「申請料に関する規程」が改訂された。
- (P79) 電子申請時のミスを減らすために、シラバス作成上の注意点をわかりやすくした。
- ・特に注意を要する項目を太字とし説明を加えた。
 - ・競技内容の表の「競技番号」を「区分」に変更した。
 - ・3級戦出場条件の説明文例を掲載した。
- その他
- ・下線が引かれた部分の文言は2017年改訂箇所。
 - ・一部文言の訂正改正、数字等の加除訂正、及び配列の訂正などをした。
 - ・(2016年の規程集のP42「公認級別競技会実施規程」、P52,53「公認級別競技会昇降級規程」、P69,70「公認フィガーチェッカー規程」、P80～82「規定フィガー」が不要となり削除した。)

以上

2016年度JDSFランキング競技の順位結果

全日本ダンススポーツランキング

●スタンダード

1位	小嶋みなと・盛田めぐみ	神奈川
2位	大西 大晶・大西 咲菜	フルボン DST/富山
3位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
4位	藤井 創太・吉川 あみ	フルボン DST/千葉
5位	久保田弓椰・セリヤグワイア	北海道
6位	山田 恭平・秋山 彩織	東京
7位	菅原 一樹・Laura Collavizza	東京
8位	寒河江貴大・熊木 美和	埼玉
9位	景山 雄紀・宮原 恵那	東京
10位	佐藤 祐馬・久保田理沙	東京

●ラテン

1位	久保田弓椰・セリヤグワイア	北海道
2位	藤井 創太・吉川 あみ	フルボン DST/千葉
3位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
4位	渡辺 安登・石垣 真衣	フルボン DST/千葉
5位	鈴木 奨太・森田 舞夢	千葉
6位	菅原 一樹・Laura Collavizza	東京
7位	Mario DeRose・三橋 櫻	千葉
7位	大西 大晶・大西 咲菜	フルボン DST/富山
7位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
10位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手

全日本選手権10ダンス

1位	久保田弓椰・セリヤグワイア	北海道
2位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
3位	大西 大晶・大西 咲菜	フルボン DST/富山
4位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
5位	田沢 拓都・徳野 夏海	千葉
6位	星野 浩基・星野 舞子	愛知

全日本選手権シニア(世界戦第1代表選考)

●スタンダード(グランプリ in 静岡)

1位	野口雄一朗・奥野 亮子	東京
2位	森川 豊則・鈴木 悠夏	大阪
3位	高杉 耕一・高杉 綾子	東京
4位	渡部 正光・渡部 典子	茨城
5位	小林 潤一・青木 奈美	静岡
6位	竹内 和也・竹内ひとみ	静岡

●ラテン(グランプリ in 大阪)

1位	名越 慎悟・名越 明子	神奈川
2位	佐藤 寿一・佐藤美奈子	岡山
3位	河野弦二郎・河野 サヨ	大阪
4位	宗形 隆史・宗形 葉子	埼玉
5位	永井 孝明・永井 優子	茨城
6位	大矢部廣昭・中川 弘美	大阪

全日本選手権シニア(世界戦第2代表選考)

●スタンダード(グランプリ in 仙台)

1位	高杉 耕一・高杉 綾子	東京
2位	草場 康司・草場 利佳	東京
3位	小林 潤一・青木 奈美	静岡
4位	渡部 正光・渡部 典子	茨城
5位	森川 豊則・鈴木 悠夏	大阪
6位	大東 哲平・大東 くに	神奈川

●ラテン(グランプリ in 北海道)

1位	岸 英明・田中 志保	東京
2位	河野弦二郎・河野 サヨ	京都
3位	宗形 隆史・宗形 葉子	埼玉
4位	武田 澄人・武田 歩	埼玉
5位	林 崇徳・林 世子	神奈川
6位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都

ユースランキング

●スタンダード

1位	藤井 創太・吉川 あみ	ブルボン DST/千葉
1位	大西 大晶・大西 咲菜	ブルボン DST/富山
3位	渡辺 安登・石垣 真衣	ブルボン DST/千葉
4位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
5位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木
6位	五月女光政・五月女睿佳	栃木

●ラテン

1位	藤井 創太・吉川 あみ	ブルボン DST/千葉
2位	渡辺 安登・石垣 真衣	ブルボン DST/千葉
2位	大西 大晶・大西 咲菜	ブルボン DST/富山
4位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
5位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
6位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木

ジュニアランキング

●スタンダード

1位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
2位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木
3位	石垣 和宏・中村 安里	千葉
3位	太田 歩生・太田 なごみ	北海道
5位	濱田 琉光・増田 有咲	栃木
6位	松浦 龍騎・松浦優莉華	宮城

●ラテン

1位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
2位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木
3位	石垣 和宏・中村 安里	千葉
4位	太田 歩生・太田 なごみ	北海道
5位	濱田 琉光・増田 有咲	栃木
5位	泰永 圭吾・小倉 里桜	群馬

全日本選手権ユース10ダンス

1位	藤井 創太・吉川 あみ	ブルボン DST/千葉
2位	渡辺 安登・石垣 真衣	ブルボン DST/千葉
3位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
4位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木
5位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
6位	石垣 和宏・中村 安里	千葉

全日本選手権ジュニア10ダンス(グランプリin静岡)

1位	濱田 琉衣・稲村 百花	ブルボン DST/栃木
2位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
3位	石垣 和宏・中村 安里	千葉
4位	太田 歩生・太田 なごみ	北海道
5位	安部 邦斗・安部 美咲	千葉
6位	濱田 琉光・増田 有咲	栃木

全日本選手権ジュブナイル(三笠宮杯)

●スタンダード

1位	木下 将希・山岡 愛生	千葉
2位	久保 力也・大西陽来里	富山
3位	山本 壮真・三喜真梨菜	愛知
4位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	神奈川
5位	濱田 琉成・吟 桜	栃木
6位	渡邊 裕太・小西 乙愛	千葉

●ラテン

1位	濱田 琉成・吟 桜	栃木
2位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	神奈川
3位	那須野功貴・山田 爽児	長野
4位	渡邊 裕太・小西 乙愛	千葉
5位	山本 壮真・三喜真梨菜	愛知
6位	久保 力也・大西陽来里	富山

ブロックランキング

北海道

●スタンダード

1位	稲垣 浩・伊藤千恵美	北海道
2位	小林 進・小林 麻里	北海道
3位	蒲生 徹・川村 一桜	北海道
4位	多田 弘二・多田 華	北海道
5位	久保田弓椰・セメヤギタケル	北海道
5位	大木 大樹・大木 風香	北海道

●ラテン

1位	太田 歩生・太田 なごみ	北海道
2位	福永 茂樹・工藤恵美子	北海道
3位	大木 大樹・大木 風香	北海道
4位	畠山 大樹・品田 冴	北海道
5位	多田 浩二・多田 華	北海道
6位	斉藤 崇幸・片山絵里子	北海道

東北

●スタンダード

1位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手
2位	野地 雅人・鹿野田 花	福島
3位	松浦 龍騎・松浦優莉華	宮城
4位	及川 久隆・及川 加代	岩手
5位	斎藤 弘美・斎藤 久美	福島
5位	山下 和男・山下千佳子	岩手
5位	千葉 隆矢・齋藤 杏美	岩手

●ラテン

1位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手
2位	野地 雅人・鹿野田 花	福島
2位	千葉 隆矢・齋藤 杏美	岩手
4位	中島 栄英・荒井かおり	福島
5位	松浦 龍騎・松浦優莉華	宮城
6位	渋井 志弘・渋井和香子	宮城
6位	佐藤 誠・佐藤美喜子	岩手

関東甲信越

●スタンダード

1位	藤井 創太・吉川 あみ	ブルボン DST/千葉
1位	山田 恭平・秋山 彩織	東京
1位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
4位	孫 祖博・西村 早織	東京
4位	渡辺 安登・石垣 真衣	ブルボン DST/千葉
6位	寒河江貴大・熊木 美和	埼玉

●ラテン

1位	渡辺 安登・石垣 真衣	ブルボン DST/千葉
1位	金井 大輝・甘利このみ	群馬
3位	藤井 創太・吉川 あみ	ブルボン DST/千葉
4位	鈴木 奨太・森田 舞夢	千葉
5位	名越 慎悟・名越 明子	神奈川
6位	山本 哲郎・工藤由美子	東京

中部

●スタンダード

1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
2位	高木 克之・日下貴志子	愛知
2位	小林 潤一・青木 奈美	静岡
4位	羽根田剛英・佐野 郁恵	静岡
4位	森 晃士・森 仁美	三重
6位	湊 博志・鯉江 彩加	愛知

●ラテン

1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
2位	間宮 典之・窪田美恵子	静岡
3位	森 晃士・森 仁美	三重
4位	村上 和穂・金子 真弓	愛知
5位	小林 潤一・青木 奈美	静岡
6位	村松 樹・降旗 友希	静岡

西部

●スタンダード

1位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都
2位	小島 誠・川中 美苗	大阪
3位	松林 勝・藤 めぐみ	滋賀
4位	青井 昭博・田中喜美子	滋賀
4位	栗林 幸範・左雲 和子	大阪
6位	加藤 修久・加藤 裕子	大阪

●ラテン

1位	佐藤 寿一・佐藤美奈子	岡山
2位	大矢部廣昭・中川 弘美	大阪
3位	笠井 康広・笠井みあき	兵庫
4位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都
5位	徳田 俊介・藤田由里佳	大阪
6位	伊加井義弘・伊加井真弓	兵庫

九州

●スタンダード

1位	津崎 伸宏・津崎光佐子	熊本
1位	徳野 一也・下河邊衣津子	福岡
3位	酒井 修平・山口 杏奈	福岡
4位	岡田 浩・岡田 素子	熊本
4位	甲斐他美夫・甲斐 幸子	福岡
4位	松本 裕孝・廣瀬 友美	佐賀
4位	山下 章玄・山下 里美	長崎

●ラテン

1位	山口 将矢・阿部 優里	九州産業 大学
2位	徳永 裕也・藤川 尚代	福岡大学
3位	西脇 達也・玉利 伸子	福岡
4位	石田 直・石田 陽子	福岡
4位	川内 博史・新西 妙子	鹿児島
6位	水上喜代志・野北 結花	福岡

2016年九州ダンススポーツ競技会福岡秋季大会 第16回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭 ダンススポーツ大会

2016年9月11日(土)／宗像ユリックス

※ユリックスの名称は宗像市の花に指定されている「ユリ」と宗像市の木に指定されている「クスノキ」からの造語



開会式

宗像市の場所は博多市と北九州市の間にあり、最寄り駅はJR鹿児島本線東郷駅です。会場の宗像ユリックスはコンサートや演劇、文化講演会等が開催されるホールで音響が大変良い会場です。

開会式では福岡県ねんりんスポーツ・文化祭、最高齢者表彰があり、船津誠福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所長より井上一義さん(84歳)と中山信子さん(79歳)に、小川洋福岡県知事からの表彰状が贈られました。最高齢の井上さんは、「練習は週2回で好きな種目はワルツ、タンゴです」と元気よく答えてくれました。

秋季大会はB級戦、C級、1級、3級、プレジュニア、



船津誠福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所所長

それぞれのスタンダード、ラテン競技です。九州各県はもとより、山口県、神奈川県からも選手が出場、ジュニア選手はシャドー競技もあり、元気に踊り、大会を盛り上げました。

併催競技は、福岡県ねんりんスポーツ・文化祭として、「高齢者のスポーツ・文化活動を通じた生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを支援し、世代や地域を超えた交流の輪を広げる事」を目的として、高齢者のスポーツ・文化の祭典・ダンススポーツ大会です。本年度末、それぞれグランドシニアAはカップル合計120歳以上、Bはカップル合計130歳以上、Cはカップル合計140歳以上の競技区分として、熱戦が繰り広げられました。

ねんりん部門の表彰式は行いましたが、それ以外の競技の入賞者は各自表彰係へ行き表彰状を受け取ることで、時間短縮された大会運営でした。



写真右より大会会長の塚本徹福岡県DS連盟会長、司会の塚本ひろこ福岡県DS連盟常務理事、スクルティニアSの高原修福岡県DS連盟部長

表彰式



最高齢者表彰の井上さんと中山さん



グランドシニアLa・A級戦



グランドシニアSt・A級戦



中山信子さん
(79歳・B級・ダンス歴20年)

井上一義さん
(84歳・D級・ダンス歴10年)



グランドシニアLa・B級戦



グランドシニアSt・B級戦



プレジュニアLa優勝
神武晴・岡田葉奈組(福岡県)



グランドシニアLa・C級戦



グランドシニアSt・C級戦



B級戦 St優勝
竹市哲雄・竹市妙子組(長崎県)



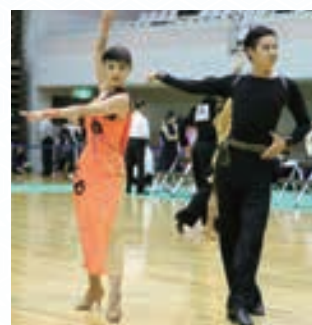
B級戦 La優勝
富岡富明・高橋千鶴組(熊本県)



C級戦 St1優勝
藪 宏之・神田香苗組(福岡県)



C級戦 St2優勝
森 孝義・田角千鶴子組(福岡県)



C級戦 La優勝
原口大地・原口泰子組(福岡県)

秋の叙勲

長野県ダンススポーツ連盟 高橋淳会長が瑞宝単光章!



勲章を胸に、高橋ご夫妻



叙勲賞状

平成28年11月11日（金）、法務省で行われた第27回危険作業従事者の勲章伝達式に妻と共に出席し、金田勝年法務大臣より勲章の伝達を受けました。その後法務省のバスで皇居に向かい、勲章を佩用（はいよう）して「豊明殿」において天皇陛下からねぎらいと激励のお言葉を賜りました。その後記念撮影し、菊の御紋の入ったお菓子をいただき退出しました。

前日宿泊したホテルでは、最上階の叙勲者用の特別室に案内され、ケーキやワインなどのもてなしがあり、特別な気分を味わいました。翌日の法務省でも、警備をはじめすれ違う職員の皆様から「おめでとうございます。」の言葉と敬礼に、照れくさい半面、胸にこみ上げるものがありました。

37年間の公務員生活を無事終え、この度の受章となりましたが、長年にわたり私を支えてくれた妻や家族、多くの仲間の応援等恵まれた環境に感謝いたします。

職種は刑務官で、今回危険作業従事者ということで受章しましたが、事務所での勤務が大半で、危険作業という思いはあまり感じませんでした。ストレスはあったはずですが、仕事が終わればダンスという全く違う環境があり、試合やレッスン・練習に明け暮れていた現役時代を思い出します。

これからも微力ながら妻と二人ダンスの普及に務めていきたいと思います。

今回の誌上に掲載させていただく機会を与えてくださった関係者の皆様に、心より感謝いたします。
(長野県ダンススポーツ連盟会長 高橋淳)

岡山県体協より岡山県ダンススポーツ連盟に感謝状授与

平成28年11月22日（火）、公益財団法人岡山県体育協会創設90周年記念の節目にあたり、岡山県のスポーツの普及振興に寄与した功績に対し岡山県ダンススポーツ連盟に感謝状が贈呈されました。

岡山県ダンススポーツ連盟は平成14年5月に岡山国体に備えて設立、尾原道與理氏を会長として役員10名で発足しました。その年はJDSFが文部科学省より社団法人として認可され、アマチュア競技体系統一のためのDSCJが設立された年でもありました。

平成16年：（社）日本ダンススポーツ連盟に正加盟

平成17年：（財）岡山県体育協会に正加盟、内閣総理大臣賞争奪「第13回都道府県対抗全国ダンススポーツ競技大会in岡山」を開催

平成18年：岡山県知事杯争奪「第1回岡山県ダンススポーツ競技大会」を開催

平成24年：ダンススポーツの芸術性が理解され、公益財団法人岡山県文化連盟に加盟

平成25年：2月24日、岡山県ダンススポーツ連盟設立10周年記念式並びに祝賀会開催

この間、各種の研修会・講習会・資格試験等を開催。ねりんピック、国民文化祭、全国生涯学習フェスティバル等、国民的行事にも参加しました。マスコミなどたびたび出演、生涯スポーツ、競技スポーツとしてのダンススポーツの知名度アップ、普及振興に役員・会員一同一致協力して推進に努めました。その功績が認められたものです。



祝賀会



感謝状

尾原道與理前会長に 岡山県体協会長より礼状授与

岡山県DS連盟尾原道與理名誉会長（前会長）には、岡山県体協に加盟した平成17年から岡山県体育協会評議員として3期12年間「卓越した見識と豊富なご経験により、本協会の発展に格段の尽力を賜った」として越宗孝昌岡山県体育協会会長より礼状が贈られました。



越宗孝昌岡山県体育協会会長(右)と尾原道與理名誉会長(左)

熊本地震から半年、初めての競技会を開催いたしました!

熊本県ダンススポーツ連盟

会長 坂本 省一

熊本地震は、2016年(平成28年)4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生している地震です。国内最大の震度7を2回記録、6強が2回、6弱が3回記録され大きな被害がありました。



2016年10月10日に熊本地震後初めての競技会「2016年九州ダンススポーツ競技会 秋季熊本大会」を宇城市松橋総合体育文化センターにおいて開催いたしました。地震に際しましては、全国各地より励ましのメール、心温まるお電話を頂き、またご支援、義援金を賜り大変心強く感謝に堪えません。

当初、予定されていた競技会とはいえ4月14日の前震、16日の本震があり、開催自体も危ぶまれました。直後、会場である体育館に被害状況を聞き施設自体は使えるとお話を頂いた時には、ほっとしたことを憶えております。

会員の中には、未だに避難所や仮設住宅にいるものを居ります。中には、このような状態でダンスをしていて良いのかとの悩みを打ち分ける会員もいました。そのような状況下にありましたが、ダンスで皆を勇気付けることが、我々の合言葉になりました。ダンスを出来る喜びを皆様方とともに分かち合いたいと思います。

今回の大会は、シニアクラスの充実と初めて行うジュニア区分と、趣向を変えた大会と位置付けて臨みました。結果総エントリー数379組となり近年の大会では非常に多くの方々がエントリーしてくれたこともスタッフの大きな力となりました。

ご来賓として地元宇城市教育長に早朝からご来場賜り、ご祝辞まで頂戴いたしました。本大会が、盛況の内に無事終了できましたことは、ご尽力を頂きました地元宇城市をはじめ大会役員の方々には努力によるものと深く感謝いたします。今後も、県連運営はもとより、魅力ある大会となるよう努力してまいります。選手の皆さん、スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。



シニア競技

ジュニア競技

ダンスで被災者支援

大分県ダンススポーツ連盟

副会長 濱本榮治

平成28年4月14日、熊本・大分地震が発生し、甚大な被害が発生しました。大分県では4月17日に別府市において開催予定の九州グランプリin大分が中止となりました。その後、鳥取中部地震が発生しました。私たちは微力ながらもダンスを通じて被災者支援ができないかと考え、地震直後の4月29日にチャリティーダンス交流会を大分南部公民館で開催、県内各地から約200名が集まりダンスができる喜びを感じながら楽しいひと時を過ごしました。



5月10日付けの大分合同新聞

第12回 全国ダンススポーツ選手権 島根大会

2016年10月23日(日)／松江市玉湯体育館

「今日は、全国の神様が集まる神話の国、出雲、世界遺産の石見銀山、名湯の玉造温泉の島根県にお越しいただきありがとうございます」と、司会者の曾田ティ子さんの爽やかな口調で大会は始まりました。

島根県ダンススポーツ連盟は2005年（野島辰彦会長）スタート。当時は島根県には数組の選手、10に満たないサークルでしたが、西部ブロック（天道貞一委員長）の協力により、この年、第1回島根県ダンススポーツ競技出雲大会が開かれました。さらに2014年には創立10周年を迎え記念式典も実施されました。

今大会の前々日14時過ぎに、お隣の鳥取県中部を震源とする大地震が発生。鳥取県中部で最大震度6弱、岡山県でも震度5強、その他大阪や京都でも震度4を観測す

る大規模なもので大会への影響も心配されましたが、野島会長はじめ幹部の皆様のご尽力も実り、山陰や山陽地方の各県は勿論のこと、九州の福岡、大分、関西の兵庫、大阪、京都、奈良、滋賀、四国の愛媛、香川、さらに岐阜県からも選手が集まり、「選手はお客様です」と野島会長と言われたのが印象的でした。出場組数134組、延295組を数え、午前の部から熱戦が繰り広げられました。また、野島会長、幹部役員の方は競技会に気軽に出場出来るアピールと、組数も増やすとの努力で、何人もの方のリーダー役を努めました。その上この日は役員共々昼食抜きで、競技会運営を頑張り、時間内に競技を無事終了させました。皆様大変お疲れ様でした。

シニアⅡ A級戦 スタンダード表彰式



優勝



林 伸男・林 民子 組
(岐阜県)



2位

細野 力・細野佐知子 組
(広島県)



司会 増田ティ子・戸谷和江島根県理事

シニアⅡ A級戦 ラテン表彰式



優勝

細野 力・細野佐知子 組
(広島県)



準優勝

井上俊郎・奥本桂子 組
(広島県) 〈スタンダード3位〉



差替えに便利な背番号
入れが付いてます

B級スタンダード表彰式



優勝



成田芳雄・成田英子 組
(山口県)



ご来賓 左から、気さくな松浦正敬松江市長(大会顧問)、五百川純寿大会会長(島根県議会議員)、岡並宏山陰中央新報社常勤顧問

B級戦 ラテン表彰式



優勝
小田 剛・入江 渚 組
(島根県)



2位
池田政路・角南陽子 組
(岡山県) (スタンダード2位)



野島辰彦会長とエントリーが一番目のカップルに島根県の仁多米が送られました。



スタンダード1・2 優勝
梢江哲夫・梢江陽子 組
(島根県)



ラテン 優勝
濱本金宏・姉尾昌美 組
(山口県)



ジャイブ 優勝
山根久美子・山根なつみ 組
(島根県)



スタンダード 優勝
江田哲也・江田結子 組
(島根県)

C級戦

シャルウィ級

安来市立赤江小学校におけるダンススポーツ普及活動

島根県ダンススポーツ連盟

特定指導員 江田 哲也

ダンススポーツを始める子供たちはここ最近増加傾向にあるとは言われていますが、島根県ではそのような広がりにはなかなか見られません。そこで私は、安来市教育委員会及び市内の小中学校に体育や音楽の授業・クラブ活動などでのダンススポーツの導入をお願いしてきました。そして3年前から、島根県下ではじめて安来市立赤江小学校においてクラブ活動としてダンススポーツを教えることになりました。地元テレビや新聞などでもたびたび取り上げられ、普及という意味において大きな一歩となったような気がしています。

赤江小学校では、特に2学期に校外講師を招いてのクラブの活動があります。そこでのねらいは「地域の人と共に活動し交流をはかることによりいろいろな仕事、趣味や特技をもっている人がいることに気づかせ、子どもたちに将来への夢がもてるようにする」というものです。

このような教育方針の下、4年生から6年生までの子どもたち十数人で、クラブの授業を10時間(2時間=90分の授業を5回)行います。ダンスクラブでは毎年、クラブを始めるにあたり、①礼儀をきちんと守る。②必ず男性と女性でペアとなる。③2人で1つの踊りを作り上げていく素晴らしさを学ぶ。④ダンススポーツは騎士道精神に基づくスポーツであり、男性は女性を守ること、女性は男性のリードに従いフォローすること。などの大切な話しをします。



シャルウィ級ワルツ表彰式

最初は恥ずかしがる子どもたちも、授業が進むにつれ楽しんで踊れるようになります。そして、最後の授業では紳士と淑女として正装し先生や保護者の見守る中、マンボやジルバの発表会を行い毎年大変好評です。

クラブの授業を通じてダンススポーツを好きになり、技術的に上手になることはもちろん大切なことですが、それ以上に子どもたちには男性と女性2人でお互いを思いやり、ダンスを創り上げていく素晴らしさを学んでほしいと思っています。

このような活動から、安来市や島根県だけでなく、全国の小中学校にダンススポーツの輪が広がることを心から願っています。今回、素晴らしい機会を与えていただき感謝しています。



講習風景

全東北学生競技ダンス連盟発足45周年記念式典

全東北学生競技ダンス連盟の前身、全東北学生舞踏連盟は1971年（昭和46年）2月、東北大学、弘前大学、山形大学、宮城教育大学、岩手大学の5校が岩手大学に集まり発足。その年の6月に盛岡市において第1回大会が開催されました。その後、宮城教育大学の脱退、山形大学の消滅もあり一時は3大学となり、さらに岩手大学、弘前大学は部員が極端に減少した時期もありましたが、2001年山形大学の復活、福島大学の加入、さらに2016年4月からはまだ同好会ではありますが、秋田大学ダンススポーツ同好会の加入があり、やっと45年で東北6県全6大学体制となりました。この45年の歴史の中で全東北学連が大きく全日本学連に影響を与えたことが3つあります。

一つは、1974年（昭和49年）当時連盟委員長だった林隆之介君（岩手大学）が全日本学連理事会で背番号の抽選を提案しました。全日本戦の背番号は、六大学の優勝校が東部の優勝校、東部の優勝校が全日本優勝校というような時代で、大手有名校がいつも同じ背番号を付けているのでは不公平という観点から、全日本戦の背番号を抽選でシャッフルされ現在の各校背番号に変わりました（以後、現在までこの背番号は固定化されているようです）。

二つ目は、1949年（昭和24年）学連発足時に制定された学生ダンス5原則の中の学生服着用は全国に先駆け、1986年からラテンで廃止、1988年（昭和63年）にはスタンダード（当時はモダン）でも廃止され、4原則となり

ました。全日本学連の廃止は1991年（平成3年）でした。三つ目は、2016年（平成28年）夏の全日本学生選抜競技ダンス選手権大会（4種目戦、夏全）のラテンにおいて優勝館紳也・佐々木彩乃組（岩手大学）、準優勝阿部啓一郎・佐々木春菜組（東北大学）という全日本戦初のワンツーフィニッシュという素晴らしい成果をあげたことです。

全東北学連創立20周年記念式典を1990年（平成2年）、仙台市民会館に当時のアマチュアラテン及びスタンダード全日本チャンピオンの中西剛・中西えり奈組（早稲田大学OB）をデモンストレーターに招き開催。以後、5年毎に創立記念式典が開催され、45周年記念式典は、9月19日に仙台パレスへいあん グレースホールにおいて開催されました。式典にあたり、館博全日本学生競技ダンス連盟会長は「45年の長きに渡り存続し発展して来られたのは、加盟校関係者の皆様の努力の賜物であり敬意を表します。いつも大会パンフ等を拝見し、全東北学連は組織的にも各大学ともに顧問の先生方が居られ課外活動団体として活発に活動されていることに感心しています。」と祝辞を述べました。ご来賓の佐々木啓宮城県ダンススポーツ連盟会長は、「45周年心からお祝い申し上げます。JDSF東北ブロック各県の大会に出場ご協力ありがとうございます。50周年に向けてさらなる飛躍を祈念申し上げます」と挨拶されました。

全東北学生競技ダンス連盟



小野原雅夫連盟会長 神宮周二連盟副会長 福山博之東北大学顧問 林隆之介岩手大学OB

来賓



館博 全日本学連会長 佐々木啓宮城県DS連盟会長



全員集合！



デモを踊った皆さん
後列左から3人目佐藤哲太連盟委員長（岩手大学）、前列左から2人目眞鍋颯也実行委員長（東北大学）

早稲田大学競技ダンス部70周年記念パーティ

2016年9月4日、早稲田大学大隈庭園が望め、憩いの場でもある大隈ガーデンハウスカフェテリアにおいて70周年記念式典が開催されました。戦後、1946年（昭和21年）当時ダンスホールやダンス教習所等の開設が相次ぎ、ダンス（舞踏）が盛んになったことを背景に、商学部の一室を使って研究や練習が始まり今日の70周年に繋がりました。

2年前部長に就任された奥村雅史教授は、「前任の厚東偉介先生から話を伺い歴史の重みを感じています。OBOG並びに関係者の活動に感謝しています。今後ともご支援よろしく」と挨拶されました。中西剛OB会（卒部会）会長は、「今日は70年の大きな節目。1949年全日本学連創設時に制定された学生ダンス5原則は1991年（平成3年）に学生服着用がなくなり4原則となりましたが、女性のドレスと詰襟学生服のアンバランスだった頃が懐かしく思い出されます。現役中心主義に基づき歴史を繋ぎ、人格形成に資する活動も重視していきたい。勝利至

上主義の勝負よりも重視しなければならないモノがあることをこれからも訴えていきたい」と話してくれました。

1947年（昭和22年）6月13日、新橋のダンスホールフロリダで開催された学生ダンス競技会のルーツである第1回早慶戦からのライバル、慶應義塾大学競技ダンス部の土井全一OBOG会長は、「70年にわたり早稲田と共に競いあってきた。100周年を共に目指しましょう」と挨拶。早稲田の地元の新宿区体育協会会長も勤める新宿区ダンススポーツ連盟会長の今泉清隆JDSF特任顧問は、「70年の活動は大変なこと。スポーツとしてのダンスの普及に共に歩んでいきたい」と話されました。中村英洋実行委員長の乾杯で懇親会に移り、現役学生のデモも披露されました。最後に、佐野充主将は「約100名の部員と共に、常に学生ダンス界の中心にあって、しっかり伝統を受け継いでいきたい。そして団体戦優勝を誓います」と決意を語りました。

来賓

早稲田大学競技ダンス部



奥村雅史部長



中西剛OB会会長



乾杯の中村英洋OB会副会長



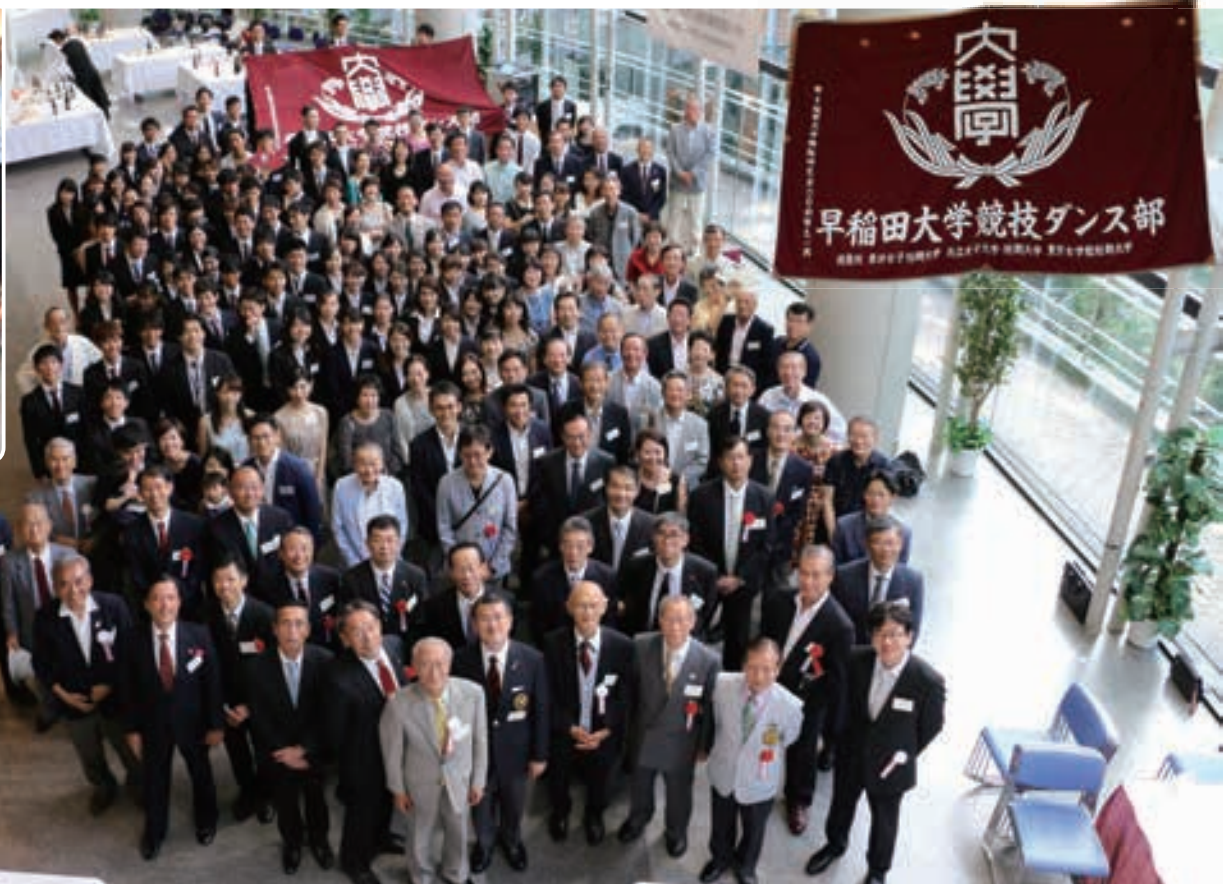
今泉清隆JDSF特任顧問



土井全一慶應義塾大学OB会長



佐野充主将のデモ



集合写真

内閣総理大臣賞争奪

第24回都道府県対抗 全国ダンススポーツ大会 in 岩手

2016年11月13日(日)／花巻市総合体育館



この大会は、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)の設立時からの大きな目標である国民体育大会(国体)参加を目指して、国体が開催された都道府県において毎年開催されています。第71回国民体育大会は10月1日から10月11日の11日間、東日本大震災復興の架け橋として“希望郷いわて国体”「広げよう感動。伝えよう感謝」をスローガンに岩手県で開催されました。

本大会開催にあたり、中道俊之実行委員長(JDSF理事、岩手県ダンススポーツ連盟会長)を中心に東日本大震災の際に、全国から頂戴した義援金を実のある形でお返ししたいと皆で話し合い、「ダンスで震災復興を!」をスローガンに掲げ、構想レベルで5年前から、実務的には2年前から準備に着手しました。高橋由美子副実行委員長(岩手県DS連盟副会長)は、「花巻市長、各地の商工会、観光協会などを何度も訪問し、ダンススポーツ競技の理解と、全国大会である都道府県対抗戦の重要性を説明しました。合わせて会場の確保が大変で、2年前に花巻市長が交代、また一から説明でし

た。体育館にも何度も足を運び、特にダンスシューズで床が傷つくことは無いと説明し、2,000名収容の立派な花巻市総合体育館アリーナの床はそのまま使用できました」と苦労話を語ってくれました。

ご来賓の上田東一花巻市長は「ようこそイーハトーブ(理想郷)はなまきへ。花巻は宮沢賢治生誕の地。熱戦の後は、豊かな温泉を始め早池峰山等の豊かな自然、さらに南部杜氏直伝の地酒、ワイン、そして郷土料理をお楽しみください」と挨拶されました。

競技は9時、シニアⅢスタンダードから始まりました。

団体戦は北海道から沖縄県まで25都道府県からスタンダードラテン合わせて54チーム432名の選手がエントリー、個人戦も合わせると延500組約千名が出場し、大声援のなか大熱戦が繰り広げられました。結果は、神奈川県チームの3連覇を阻み、東京都チームが優勝。準優勝はラテン1位と大健闘の埼玉県チーム、第3位は神奈川県チームでした。優勝の東京都には山田淳専務理事から内閣総理大臣賞と優勝旗が贈られました。

★ 文部科学大臣賞に輝きました ★



A級戦スタンダード優勝
佐藤祐馬・久保田理沙組(東京都)



A級戦ラテン優勝
名越慎悟・名越明子組(神奈川県)



山田淳
JDSF専務理事



中道俊之
岩手県DS連盟会長



上田東一花巻市長(右)と
金子和裕JDSF常務理事



入場行進



開会式



選手宣誓 山下和男・山下千佳子組(岩手県)

団体戦



優勝

東京都チーム

居樹保朗東京都DS連盟会長は「とにかく勝てて良かった。悲願の優勝です。これからみんなで祝杯です」と大喜び。



準優勝 埼玉県チーム



神奈川県チーム

第3位

A級戦スタンダード



表彰式



優勝

佐藤祐馬・
久保田理沙組
(東京都)



準優勝

野地雅人・
鹿野田花組
(福島県・宮城県)

A級戦ラテン



表彰式



優勝

名越 慎悟・
名越 明子組
(神奈川県)



準優勝

千葉海都・
千葉琳花組
(岩手県)

全日本選手権シニアⅢスタンダード



優勝

谷口主嘉・谷口小夜子組(京都府)



表彰式

全日本選手権シニアⅢラテン



優勝

濱田 穰・濱田のり子組(埼玉県)



表彰式

団体戦で活躍した選手



久保田弓椰・徳野捺美組(北海道)



中道俊之・中道和子組(岩手県)



吉田武将・田中悦子組(青森県)



伊藤 慎悟・高橋由美子組(岩手県)



大竹 亮・大竹礼子組(新潟県)



西村康宏・鳥尾綾香組(東京都)



川島俊明・川島道子組(東京都)



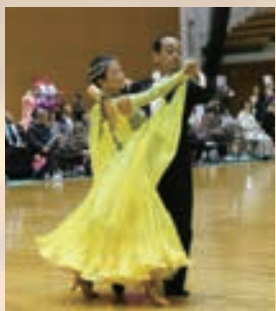
須田幸彦・足立恵子組(神奈川県)



藤井創太・吉川あみ組(千葉県)



村瀬賢一・小笹詩織組(埼玉県)



上原健幸・森 悦子組(沖縄県)



川口善達・森美恵子組
(兵庫県)

大会の様子は岩手日報に掲載されました



地元の岩手大学の学連選手も大活躍!

A級戦スタンダード第6位
佐藤哲太・佐藤里沙子組
(岩手県・岩手大学)

A級戦ラテン第6位
館 紳也・佐々木彩乃組
(岩手県・岩手大学)



全体会議

都道府県対抗戦の前日11月12日（土）、岩手県花巻市において開催されました。今回は、PD（プレミアディビジョン）から浅野勉BR（ボールルームダンス本部）副本部長やPDブロック運営委員会の役員の方々6名も参加されました。浅野勉副本部長は「JDSFとJBDFがダンス界の統合に向けて話し合ってきたが、なかなか合意に達しない中でJDSFのPD部門の立上げがあり感謝。JDSFの中でPDとしてどう活動していくか、皆さんと共に話し合っていきたい」と挨拶されました。



浅野勉副本部長とPDブロック運営委員会の皆さま

岸尾政弘総務部部長の司会進行で会議は始まりました。山田淳専務理事は“JDSFの活動理念と中長期計画&PDの役割と展望”と題して講演。特にPDを中心に説明がありました。「目指せオリンピック！はJDSF創立以来の不動の方針、ダンス人口の高齢化と減少傾向には、アマプロの枠を超えて包括的に対応すべきである」としてさらに、「PDの活動理念」について再確認がありました。また、松山光男理事BR副本部長からPD資格認定等について経過報告がありました。

分科会

中道俊之組織委員会委員長からは「“PDのあり方について” ダンススポーツの将来に向けた発展の為に“ぶれないビジョン（国体、オリンピック）とダンス文化再構築（地域での普及）”の二つの大きなテーマ



山田淳専務理事

を課題にPD活動を本格的に発展させていく。風営法の改正もあり自由な発想でビジネスチャンスが沢山あると理解。お互いに同じ考えであれば、二つの組織はひとつにした方が良い」と説明。従来型アマプロ組織の融合（PD部門の設立）からイノベーション（組織の変化と新価値の創造）に向けて組織運営、事業展開さらに会員帰属のあり方等を進めるためには、各地域の事情もあるので、「各ブロックでのPDのあり方について」というテーマで、PD役員もそれぞれのブロックに入り分科会でディスカッションし全体会議で発表することになりました。

分科会は北海道東北、関東甲信越、中部、西部、九州の5つの各ブロックに分かれて実施されました。どのブロックも今後どうやってPD部門を盛り上げていくかという観点で自由闊達に話し合い。全体的には前向きな意見が多く、PD部門からは各ブロックまたは都道府県で実施している大会にPD部門も合わせて競技会を開催して欲しいという要望が出され、東京・千葉等では具体的な日程調整に入っている等の報告がありました。

PDの活動理念

1. 我が国のダンススポーツの将来に向けた発展のために、会員の過去の競技実績の差異、現役・OBの差異、アマプロ差異などと無関係に、それぞれの分野の能力を活かしつつ平等の精神で民主的な組織運営を行う。
2. 過去に行われがちだった不公正なジャッジを完全に排除し、ダンススポーツとしての客観的かつ公正な審判が行われるような仕組みと管理を徹底する。
3. ダンスを職業とする者も職業としない者も、連盟の活動に於いては個人の利益を追求しない。
4. 全ての会員が協力一致してダンススポーツの国体、オリンピック参加を目指すとともに、地域での普及、ダンス文化再構築に尽力する。
5. PD部門選手についても連盟の選手強化事業の対象として競技力の向上を図るほか、選手の育成システムから、生活の場となる次世代型のダンスビジネスまで、協力してその開発に尽力する。
6. 選手はいかなる競技体系の競技会に出場することも自由であることを確認する一方、選手強化事業など特別な支援は、定款の目的に従ってWDSF体系、IOC／JOC体系の競技会を対象とする。

各ブロックに分かれての検討会



北海道東北ブロック



関東甲信越ブロック



中部ブロック



西部ブロック



九州ブロック

PD公認ランキングポイント競技会

仲野異PD副本部長は「PD本部の立ち上り状況」について触れ、PD競技体系（PD公認ランキングポイント対象、同ブロックランキングポイント対象、同承認競技会）について説明がありました。

締めくくりは、蒲生志津雄競技部長から2017年「競技関連規程集」の主な改定ポイント（P11参照）について説明がありました。



蒲生志津雄競技部長

2017年PD公認ランキングポイント競技会（予定）

★WDSF PDグランプリカップ・スタンダード競技の日本初開催！

日時：2017年3月12日（日）第19回東京オープン（東京体育館）

WDSF World Open スタンダード（St）＆ラテン（La）と併催

★PD公認ランキングポイント競技会

4/16 九州グランプリ（別府アリーナ）：PDグランプリカップ（九州）La

5/7 大阪グランプリ（不死王閣）：PDグランプリカップ（大阪）St

6/4 全日本10ダンス選手権（津島市体育館）：PDグランプリカップ（愛知）St

7/23 静岡グランプリ（浜松アリーナ）：PDグランプリカップ（静岡）La

9/17 仙台グランプリ（青葉体育館）：PDグランプリカップ（仙台）La

10/8 第37回三笠宮杯（東京体育館）：第2回全日本PD選手権（東京体育館）St&La

ジャストフィットエンビ

最軽量&ストレッチでフィット!!

芯地を抜いて
胴体にもフィット!!

大絶賛!
人気商品

袖幅は極限まで
絞込みフィット!!

既製品

¥145,000（税別）

のところ、JDSF会員価格

¥130,500（税別）

にて販売しております。

※詳しくはJDSF HP内
申込書をご確認ください。

3/11日～12日 東京体育館内トリキンブースにて
ご試着販売会を行います。この機会に是非一度お試しください。

JDSFスタンダードA級
菅原一樹

¥145,000（税別）（既製品）
上下・カマーバンド・ポケットチーフ付
¥160,000（税別）（イージーオーダー）
サイズ（9サイズ）YAM~LL AM~LL ABM~ABLL



東京トリキン(株)

エンビのトリキン

TEL.03-3866-4854 FAX.03-3866-4033

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-1 <http://www.torikin21.com>

営業時間／月～金 10:00～18:30 土日祝 10:00～17:30

第29回全国健康福祉祭ながさき大会 ねんりんピック長崎2016 長崎でひらけ長寿の 夢・みらい

ダンススポーツ交流大会

主催：厚生労働省・長崎県・一般社団法人長寿社会開発センターなど

共催：スポーツ庁

10月16日(日)／佐世保市東部スポーツ広場体育館

ねんりんピックは、厚生労働省などが健康増進や世代間交流などを目的に1988年から開催している60歳以上の方々を中心とした健康と福祉の祭典です。10月15日(土)、長崎県諫早市の長崎トランスコスモスタジアム長崎(県立総合運動公園陸上競技場)において総合開会式が開催されました。

「長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい」をテーマにした第29回全国健康福祉祭ながさき大会(ねんりんピック長崎2016)は10月15日(土)、諫早市のトランスコスモスタジアム長崎で総合開会式が開催されました。18日まで県内15市町で計26種目のスポーツ、文化の交流大会が行われ、全47都道府県と20政令指定都市から過去最多の約1万600人が出場しました。

総合開会式には
アトラクションの



開会式

出演者、観客ら約2万2千人が参加、常陸宮妃華子さまは「実り多いものになることを願ってやみません」とお言葉を述べられました。

開会式

10月16日(日)、ダンススポーツ交流大会は佐世保市東部スポーツ広場体育館において9時から開会式が始まりました。朝長則男佐世保市長は「早朝から素晴らしいコスチュームでお集まりいただきました。この大会が開催でき大変光栄。熊本地震、心からお見舞い申し上げます。佐世保市では元気で生きがいのある街づくりを目指しています。大会を通して全国の選手の方々や多くの市民とふれあい、世代を超えた交流の輪を広げていただきたい」と挨拶され、市岡博道佐世保市議会議長は「高齢者の方々がいきいきと生活を送り、これまで培われた豊かな経験や知識、技能を生かして様々な活動されることは、地域の活性化にもつながる、この大会が佐世保市で開催されることは、大変意義深い」と挨拶されました。



「60歳を超えてダンスができる幸せと喜びと生きがいを感じています」と選手宣誓



左から、林健二佐世保市議会副議長、馬場隆長崎県DS連盟会長、朝長則男佐世保市長



観戦の中村法道長崎県知事



総合開会式 炬火(きよか)台に点 開会式でご祝辞を述べる常陸宮妃華子さま火されました



総合開会式 炬火(きよか)台に点 開会式でご祝辞を述べる常陸宮妃華子さま火されました



総合開会式の後にはホテルリソル佐世保において監督会議



模範演舞

2016年三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権で初のチャンピオンに輝いた24歳と23歳の若きエース。「長崎県は初めてです。三笠宮杯は9年前にファイナル入りしてからやっとつかんだ初優勝です。今年に入り骨折など怪我の連続でした。練習は週6日、それも、シャドー、筋トレ、ストレッチに多くの時間を割いています。サポートしていただいた皆様にはほんとに感謝の気持ちで一杯です。」と話しました。



小嶋みなと・盛田めぐみ組



あやたけ踊り保存会

アトラクション

その昔、相次ぐ迫害のため、殉教と離散の道をたどったキリスト教の信徒は僻地で人目を忍んで暮らしていました。あやたけ踊りは、明治6年禁教令が解かれた喜びで身近にあった一文銭を竹筒に入れて打ち鳴らしたのが始まりとされています。

「親は五島に、子は褥崎(しとねぎ)、落ちる涙は波の上」

来年のねんりんピック2017は秋田県で開催されます。ダンススポーツ交流会は9月10日秋田県立体育館、またお会いしましょう。



佐世保市消防音楽隊



中国四川省に伝わる川劇「せんげき」の一つの川劇変面

最高齢者表彰



男性…日高達一さん
(愛媛県チーム84歳)



女性…奈良節子さん
(川崎市チーム80歳)

高齢者表彰

早崎 義仁さん (川崎市チーム82歳)
鶴丸 和義さん (福岡市チーム81歳)
渋谷 勝世さん (長崎県Cチーム80歳)
森田 玲子さん (愛媛県チーム80歳)
平越 禮子さん (愛媛県チーム79歳)
田邊 キヨさん (新潟市チーム79歳)

おもてなしコーナー



長崎和牛の振る舞い



無料ドリンクコーナー

特別表彰

佐世保市が誇る美しい景観と豊かな自然環境の「西海国立公園九十九島」が国立公園に指定された日に因んで3月16日生まれの織田選手、岡田選手に佐世保市長から、九十九島で育った「九十九島かき」「九十九島煮干し」「九十九島とらふぐ」の詰め合わせが贈呈されました。



織田喜久さん (三重県)



岡田明義さん (長野県)

個人戦

ワルツの部



優勝 古澤 誠・緑谷澄枝組 (愛知県)



準優勝 川島俊明・川島道子組 (東京都)



第3位 岡田明義・岡田祐子組 (長野県)

タンゴの部

優勝 古澤 誠・緑谷澄枝組 (愛知県)
準優勝 川島俊明・川島道子組 (東京都)
第3位 田玉 仁・田玉公子組 (東京都)



チャチャチャの部



優勝 平沢一夫・平沢恵子組 (茨城県)



準優勝 大河内譲・大河内久美代組 (愛知県)

ルンバの部

優勝 平沢一夫・平沢恵子組 (茨城県)
準優勝 大河内譲・大河内久美代組 (愛知県)
第3位 廣末秀樹・山本和子組 (福岡県)



第3位 中村辰郎・中野久美子組 (鹿児島県)

団体戦



優勝 東京都Aチーム



準優勝 茨城県チーム



第3位 愛知県チーム



入賞の選手には国指定伝統工芸品のみかわ焼きのメダルが贈呈されました



地元長崎県チームの皆さま

この大会開催にあたりご尽力された故長崎県DS連盟事務局長馬場祥子様の遺影を掲げて観戦のご家族



第19回 東京オープン・ ダンススポーツ選手権

2017年3月12日(日) 8:00~21:00 東京体育館

興奮と感動の熱き競演!



チケットはインターネットからも購入できます!



<http://pia.jp/t/>

☎0570-02-9999



イープラス

<http://eplus.jp/jdsf/>

【入場券のお申込み】 JDSF会員は各所属団体へ。

【一般入場券のお問合せ・お申込み】

大会事務局: 〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階
公益社団法人日本ダンススポーツ連盟「東京オープン実行委員会」

Tel:03-6457-1858 Fax:03-6457-1857

※電話でのお問い合わせは、13時~17時(土・日・祝日除く)にお願い致します。

<http://www.jdsf.or.jp/> 日本ダンススポーツ連盟

競技内容

WDSFワールドオープン・スタンダード

WDSFワールドオープン・ラテン

WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード
(日本初開催)

U-23スタンダード / U-23ラテン

■主催 / 公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

■後援 / スポーツ庁(申)・(公財)日本体育協会(申)・
(公財)日本オリンピック委員会(申)・
東京都(申)・毎日新聞社(申)

